

学年	単元名	児童	場所	指導者
4年	「旭山動物園とわたしたち」	4年1組 34名	4年1組 教室	田中 歩実

育てたい資質・能力

◎総合的な学習の時間において育成を目指す資質・能力から本時にかかわる主な資質・能力

②探求的な学習を通して身に付ける課題を見だし解決する力

（思考力・判断力・表現力等）

旭山動物園のメッセージに対して、体験を通じて課題を見いだすことができる。

研究とのかかわり

研究内容2～「一単位時間における学習過程の改善＜本時の手立ての工夫＞」

～アクティブ化シートB-①

①課題意識重視～動物との触れ合いにより、動物への興味・関心を高める

旭山動物園のメッセージである“命の尊さ”について考え、自分なりの答えを出すことを単元のねらいとして設定した。より主体的な学びとするために、実体験（「触れ合い体験」と「触れ合えない体験」）を設定し、双方を比較していくことで、その体験の違いに疑問が生まれると考えた。

そこで、本時の「触れ合い体験」では、数種類の動物と“触れ合い”，動物の体温や重さ、心拍数や触感などに注目することで、動物への興味・関心を高めることをねらいとしている。また、感じたことや気付いたことを友達同士や旭山動物園の飼育員さんと交流することで、より理解や関心を深めていきたい。

次時の「触れ合えない体験」は、“観察”して動物への理解を深めることをねらいとしている。「触れ合い体験」との違いを十分に感じられるよう仕組んでいきたい。

1 単元について

(1)単元の目標と評価規準

【単元の目標】

“旭山動物園のメッセージ”に対して、動物との“触れ合い”や“観察”を通して、その命の素晴らしさや尊さを実感し、その大切さについて自分なりに考え、表現する。

本単元は、学習指導要領「総合的な学習の時間」

横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

を受けて、本校で内容を設定したものである。

“旭山動物園のメッセージ”である“命の輝き”を追求することで、命の大切さや尊さを4年生なりに考えを深めていく。実体験を取り入れ事象と出会い、そこで生まれた疑問や不思議を、動物園で働く人と交流したり、調べ学習を行ったりすることで追求していく。調べ

学習では、書籍・インターネット・DVD・旭山動物園だよりなどを活用する。友達同士や旭山動物園で働く人との情報交流を取り入れることで、価値ある情報を共有し、思考の深まりにつながると考えた。さらに、調べたことや自分の考えを基に、旭山動物園の紹介ポスターを作成し、保護者や旭山動物園に発信することで、目的意識の継続化を目指した。

【評価規準】

【学習方法に関すること】	【自分自身に関すること】	【他者や社会とのかかわりに関すること】	【学習テーマへの関心・意欲】
・旭山動物園のテーマ「命の輝き」についての疑問から課題意識を持ち、自ら課題を設定し、見通しを持って取り組むことができる。	・自分にとっての命の輝きとは何か考え、かけがえのない命と自分とのかかわりについて考え、未来への夢や希望を持つことができる。	・学級の仲間や地域の人たちと交流しながら旭山動物園のよさに気付くことができる。	・旭山動物園やそのテーマである「命の輝き」に関心を持ち、主体的に関わろうとする。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、2年生の時の生活科で「旭山動物園のモルモットの飼育」を行い、動物と触れ合う経験をしてきており、動物への興味・関心の高い児童が多い。生き物に触れ合う経験は、理科の授業や普段の生活で植物や昆虫に触れる程度ではあるが、生き物の特徴に着目し、愛着をもって関わる様子が見られる。

また、事前のアンケート調査によると、全員が旭山動物園に行ったことがあると回答しており、旭山動物園は児童にとって馴染みのある地元の動物園である。

(3) 指導の手立て

本単元では、「触れ合い体験」と「触れ合えない体験」を体感することで、疑問・気付き・予想を生み、課題への興味・関心を高めていく。また、動物園で働く人と交流することで、自分の感覚とのズレを感じたり、新たな視点に気付いたりするきっかけとしたい。さらに、追求したことを保護者・動物園で働く人に伝えるというまとめを設定し、目的意識を継続させたい。その際、「旭山動物園紹介ポスター」の作成を通して、インプットしたものをアウトプットしていくことによる思考の深まりに期待する。

2 単元の指導計画

【35時間扱い 本時2 / 35時間】

次	時	○学習活動	教師の評価規準（評価方法） ◇到達が不十分な児童への指導の手立て
一次	①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">旭山動物園について詳しくなろう。</div> ○旭山動物園について交流する。 (知っていることや知らないこと)	㊦知っている情報を交流したり、知らないことを考えたりして、学習についての意欲を高めている。(観察・発言)

		② 本時	○旭山動物園出張授業で「動物との触れ合い体験」を行う。 ○次時の「触れ合えない体験」の見通しをもつ。	㊦ 実際に見て、触れて、その動物の特徴や生き物のあたたかさを実感している。(観察・発言) ㊧ 動物と触れ合っただけのことを書いている。(観察・ワークシート) ◇ 動物をよく観察したり、触れ合ったりするように声掛けをする。
		③ ～ ⑦	○旭山動物園見学で「動物と触れ合えない体験」を行う。 (ペンギンの散歩)	㊦ 「動物に触れ合えない」という状態を理解している。(観察・発表) ㊧ 体験を通して気付いたことを書いている。(観察・ワークシート) ◇ 「触れ合い体験」の時とどう違うか考えさせる。
		⑧	○2つの共通体験を通して感じた疑問を交流する。 (旭山動物園のメッセージ)	㊧ 旭山動物園が入園者に伝えたいことに気付く。(観察・発言・ワークシート) ◇ 2つの体験の違いについて考えさせる。
二次	課題をつかむ (6)	⑨ ～ ⑭	旭山動物園のメッセージについて調べよう。	
	解決へ の見通しをもつ (2)	⑮ ⑯	○旭山動物園のメッセージ「命の輝き」について考える。 (課題の設定) (ホームページ, 書籍, DVD等) ○旭山動物園のメッセージを知り、さらに調べたいことを決める。	㊦ 「命の輝き」に関心を持ち、調べ学習を進めている。(観察・意見文) ◇ さまざまな調べ方があることを伝える。 ㊧ 自ら課題を設定し、見通しを持って取り組んでいる。(観察・ワークシート)
三次	追究・解決 交流 まとめ (13)	⑰ ～ ⑲	旭山動物園のよさを伝える「紹介ポスター」を作ろう。	
		⑳ ～ ㉳	○課題について調べる。 ○旭山動物園飼育展示係の方と交流する。 ○課題についてポスターにまとめる。	㊦ 「命の輝き」について考えている。(観察・ワークシート) ㊧ 学級の仲間や動物園の方と交流し旭山動物園のよさに気付くことができる。(観察・発言・ワークシート) ㊨ 旭山動物園の在り方や「命の輝き」について自分なりに考えまとめている。(ワークシート) ◇ 調べたことを整理するように伝える。ポスターの書き方例を提示する。
	振り返り・吟味 (6)	㉴ ～ ㉷	○旭山動物園について調べ、まとめたことを保護者に伝える。 ○旭山動物園飼育展示係の方と交流する。 ○学んだことをまとめる。	㊨ 調べたことについて、自分の言葉で伝えようとしている。(観察・発言) ㊩ 旭山動物園の未来や、これから自分にできることについて考えている。(観察・発言・ワークシート)

3 本時の学習

①本時の目標

旭山動物園の動物と触れ合い、動物の体温や重さ、心拍数や触感などを実感し、動物への関心を高める。【学習テーマへの関心・意欲】

②本時の展開【35時間扱い 1 / 35時間目】*一単位時間レベル【課題意識重視】

	子どもの活動	思考	□教師の働きかけ ◆評価（評価方法）
導入 5分	1 課題を確認する。	全体	
	旭山動物園こども牧場の動物たちを知ろう！		
展開 25分	2 飼育展示係さんと出会う。	全体	□旭山動物園の飼育展示係さんを紹介する。
	3 子ども牧場の動物たちと出会う。	全体	□飼育展示係さんに動物たちの紹介をしてもらう。
	4 動物たちと触れ合い、気付いたことをメモする。 「あたたかい（体温の違い）」「ふわふわしている」「重たい」「心拍数が多い」「気持ちいい」	個	*数種類の動物と“触れ合い”，動物の体温や重さ，心拍数や触感などに注目することで，動物への興味・関心を高める。 □「触れ合って気がついたことをたくさんメモしよう！」 □アレルギー調査から，気になる児童については，担任が注意して様子を観察する。 □それぞれの動物の特徴や，生き物のあたたかさに気付かせる。
	5 旭山動物園について不思議に感じたことをワークシートに書く。 「動物によって特徴が違った」「思ったよりも体温が高かった」「旭山動物園の他の動物にもあってみたい」「どうして〇〇は▲▲なんだろう」「初めて触った」	個	□「動物と触れ合って気付いたことや，旭山動物園について不思議に思ったことを書きましょう。」 ◆積極的に動物を見て，触れて，その動物の特徴や生き物のあたたかさを実感し，感想をもっている。（観察，発言，ワークシート）
6 全体で交流する。	全体	*友達同士や旭山動物園の飼育員さんと交流することで，より理解や関心を深める。	
終末 5分	7 学習を振り返り，今後の学習の見通しをもつ。	個	□飼育員さんから，「ぜひ今度は旭山動物園に来てほしい」とメッセージを送る。（次回は触れ合えない体験）
	動物にはそれぞれの特徴があるんだな。生き物ってあたたかいな。 旭山動物園には他にどんな動物がいるのかな。この後の体験も楽しみだ！		

③本時の評価

◇評価基準の具体（評価方法～観察，発言，ワークシート）

【学習テーマへの関心・意欲】

十分に満足できる（A）：積極的に動物を見て，触れて，その動物の特徴や生き物のあたたかさを実感し，感想や疑問をもっている。

おおむね満足できる（B）：積極的に動物を見て，触れて，その動物の特徴や生き物のあたたかさを実感し，感想をもっている。

努力を要する児童への指導：積極的に動物と触れ合ったり，観察したりするように促し，感じたことをワークシートに書くように伝える。